

地域間幹線系統実績等(平成30年度)

1. 系統の概要					
申請番号	運行系統名	事業者名			路線概要
42	南紀特急(松阪)	三重交通株式会社			別添のとおり
起点	主な経由地	終点	系統キロ程(km)		
瀬木山	紀伊長島	松阪中央病院	95.1km		
関係市町 <small>()内はH13.3.31現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	*尾鷲市－紀北町(海山町、紀伊長島町)－大紀町(大内山村、紀勢町、大宮町)－大台町－多紀町(勢和村、多気町)－*松阪市				
交通圏	伊勢・松阪交通圏 尾鷲・熊野交通圏				
2. 地域間幹線系統補助に係る指標					
年度(補助年度)	H26	H27	H28	H29	H30
計画輸送量(人)	21.2	H26.10.1～:22.4 H27.4.1～:21.6	21.6	19.6	20.4
実績輸送量(人)	21.6	20.0	20.8	21.2	20.0
平均乗車密度(人)	5.4	5.0	5.2	5.3	5.0
運行回数(回)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
確保維持改善事業⑤	A	C	B	A	B
3. 接続する地域内フィーダー補助受給系統					
系統名	市町・協議会名	運行(予定)事業者	接続停留所		
尾鷲地区	尾鷲市	三重交通株式会社	尾鷲駅口、瀬木山、熊野古道センターほか		
ハラソ	尾鷲市	三重交通株式会社	尾鷲市病院前、イオン前		
八鬼山	尾鷲市	三重交通株式会社	尾鷲市病院前、イオン前		
便ノ山	紀北町	三重交通株式会社	国道相賀		
幹線バス	多気町	三重交通株式会社	多気町役場前		
市街地循環	松阪市	三重交通株式会社	松阪駅前		
4. 接続する地域内フィーダー系統の利用状況					
系統名	市町・協議会名	平成29年度利用者数	平成30年度利用者数	平成30年度－平成29年度	
尾鷲地区	尾鷲市	19,651	18,231	-1,420	
ハラソ	尾鷲市	14,695	12,883	-1,812	
八鬼山	尾鷲市	25,633	23,109	-2,524	
便ノ山	紀北町	1,753	1,719	-34	
幹線バス	多気町	8,014	7,272	-742	
市街地循環	松阪市	91,414	86,472	-4,942	
合計		101,181	95,463	-5,718	
5. 平成30年度地域間幹線系統実績に対する評価					
県の意見	<ul style="list-style-type: none"> 輸送量目標20.8人に対して、20.0人の実績となり、目標は達成できなかった。輸送人員についても前年度実績に対して、1,509人の減少となった。(H29 34,112人 → H30 32,603人) 当該路線は尾鷲市と松阪市(松阪中央病院)を結ぶ非常にキロ程の長い路線であり、沿線には多くの病院があり、熊野古道への観光目的利用等も想定される多用途で利用できる路線としたが、利用状況を検証しながら、他の系統への乗り継ぎ等利便性の向上を図っていく必要がある。 <p>平成30年10月から尾鷲市から熊野市までの路線延長及び全停留所での乗降扱いを行なうことにより沿線居住者の利便向上及び観光利用者の拡大を図ることとした。</p> <p>【評価：B】(定量的目標の90%以上の輸送量を達成した路線)</p>				

関係市町の意見

(松阪市)

- ・通勤・通学時間以外の時間帯の利用、特に高齢者が利用しやすい仕組みや環境整備を検討する必要がある。例えば、「セーフティーパス」の交付要件をさらに緩和するなど。
- ・路線の名称が「松阪熊野線」に変わったことにより、今までよりも利用しやすいバスとなった。今後は利用したいバスになるように沿線市町の魅力を伝えられるようなPRを進めていく必要がある。

(尾鷲市)

- ・本路線の沿線上には、いくつかの大規模病院が存在していることから、輸送人員は減少しているものの、ニーズの高さがうかがえるため、沿線住民並びに本市住民にとって、必要不可欠な路線であるものと思料する。

(多気町)

- ・平成30年10月1日から南紀特急線が松阪熊野線に刷新され、町内の停留所が1ヶ所から10ヶ所に増えて便利になる。周知が浸透するには丁寧な案内をする時間が必要なので、社会福祉協議会と連携し、さわやか広場（高齢者の方が集まる体操や文化活動）で時間をいただき、公共交通コンシェルジュ活動を行う。

(紀北町)

- ・この地方の住民にとって本路線は「松阪市方面へ行くためのバス」という感覚があるのではと思います。したがって、10月から全バス停に停車することになり尾鷲市方面にも便利に行けるようになったということをPRする必要があるかと思っています。
- ・バス通学定期券が利用出来る路線であるため、島勝線、尾鷲長島線を補完する路線として通学でも利用できるよう、ダイヤの改善の可能性について検討願いたい。

地域間幹線系統実績等(平成30年度)

1. 系統の概要					
申請番号	運行系統名	事業者名			路線概要
43	島勝	三重交通株式会社			別添のとおり
起点	主な経由地	終点	系統キロ程(km)		
瀬木山	尾鷲駅口	島勝	24.0km		
関係市町 <small>()内はH13.3.31現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	* 尾鷲市－紀北町(海山町)				
交通圏	尾鷲・熊野交通圏				
2. 地域間幹線系統補助に係る指標					
年度(補助年度)	H26	H27	H28	H29	H30
計画輸送量(人)	18.4	17.3	18.4	16.2	16.2
実績輸送量(人)	19.6	16.2	16.2	16.8	15.6
平均乗車密度(人)	3.5	2.9	2.9	3.0	2.8
運行回数(回)	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
確保維持改善事業⑤	A	A	C	A	B
3. 接続する地域内フィーダー補助受給系統					
系統名	市町・協議会名	運行(予定)事業者	接続停留所		
尾鷲地区	尾鷲市	三重交通株式会社	イオン前、尾鷲市役所前、栄町ほか		
須賀利地区	尾鷲市	三重交通株式会社	島勝		
便ノ山	紀北町	三重交通株式会社	国道相賀		
4. 接続する地域内フィーダー系統の利用状況					
系統名	市町・協議会名	平成29年度利用者数	平成30年度利用者数	平成30年度－平成29年度	
尾鷲地区	尾鷲市	19,651	18,231	-1,420	
須賀利地区	尾鷲市	2,440	2,468	28	
便ノ山	紀北町	1,753	1,719	-34	
合計		23,844	22,418	-1,426	
5. 平成30年度地域間幹線系統実績に対する評価					
県の意見	<ul style="list-style-type: none"> 輸送量目標16.2人に対して、15.6人の実績となり、目標は達成できなかった。輸送人員についても前年度実績に対して、3,137人の減少となった。(H29 49,804人 → H30 46,667人) 当該路線は「利用促進対策路線」として、行政、交通事業者で課題の把握等に努め、利用促進対策等の検討、協議を続けているところであるが、輸送量が補助対象路線となる要件の下限近くまで減少することとなった。高校通学ダイヤの設定や通学定期補助制度等通学利用者へ利用促進の実施のほか、高齢者に対する更なる利用促進策便性向上等の取り組みを実施する必要がある。 <p>【評価：B】(定量的目標の90%以上の輸送量を達成した路線)</p>				
関係市町の意見	<p>(尾鷲市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 紀北町海山区と尾鷲市を結ぶ路線であり、本市で運行しているコミュニティバスのふれあいバス須賀利線がこの幹線に接続している。須賀利住民にとっては、唯一の公共交通手段であり、通院、買い物など、日常生活のために必要不可欠な路線である。 輸送量が減少しているため、今後も継続して、利用促進に努める必要があるものと思料する。 <p>(紀北町)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生の通学の足としてのバス利用を考えた時に下校時の便が早いため、もう少し遅い便(主に18時～19時台)のダイヤ改正について検討していただければと考えています。 				

地域間幹線系統実績等(平成30年度)

1. 系統の概要					
申請番号	運行系統名	事業者名			路線概要
44	尾鷲長島	三重交通株式会社			別添のとおり
起点	主な経由地	終点	系統キロ程(km)		
瀬木山	古里	長島駅前	30.0km		
関係市町 <small>()内はH13.3.31現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	* 尾鷲市－紀北町(海山町、紀伊長島町)				
交通圏	尾鷲・熊野交通圏				
2. 地域間幹線系統補助に係る指標					
年度(補助年度)	H26	H27	H28	H29	H30
計画輸送量(人)	18.4	18.4	17.8	16.5	16.5
実績輸送量(人)	18.4	16.5	16.5	16.5	15.1
平均乗車密度(人)	2.8	2.5	2.5	2.5	2.3
運行回数(回)	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6
確保維持改善事業⑤	A	A	C	A	B
3. 接続する地域内フィーダー補助受給系統					
系統名	市町・協議会名	運行(予定)事業者	接続停留所		
尾鷲地区	尾鷲市	三重交通株式会社	栄町、朝日町、尾鷲港ほか		
海野	紀北町	三重交通株式会社	紀伊長島駅		
便ノ山	紀北町	三重交通株式会社	国道相賀		
4. 接続する地域内フィーダー系統の利用状況					
路線名	市町・協議会名	平成29年度利用者数	平成30年度利用者数	平成30年度－平成29年度	
尾鷲地区	尾鷲市	19,651	18,231	-1,420	
海野	紀北町	1,614	1,346	-268	
便ノ山	紀北町	1,753	1,719	-34	
合計		3,367	3,065	-302	
5. 平成30年度地域間幹線系統実績に対する評価					
県の意見	<ul style="list-style-type: none"> 輸送量目標16.5人に対して、15.1人の実績となり、目標は達成できなかった。輸送人員についても前年度実績に対して、3,252人の減少となった。(H29 60,105人 → H30 56,853人) 同路線は「利用促進対策路線」として路線の維持・確保のため、関係者間で課題の把握、利用促進策の検討等の協議を続けているが、輸送量が補助対象路線となる要件の下限近くまで減少することとなった。同路線は通院、買物目的等の利用者が多く、通学用利用者を増やすため、高校通学ダイヤの設定や通学定期補助制度等の実施している。熊野古道を訪れる観光利用目的等、幅広いニーズが期待されることから、更なる利用促進策を実施する必要がある。 【評価：B】(定量的目標の90%以上の輸送量を達成した路線) 				
関係市町の意見	<ul style="list-style-type: none"> (尾鷲市) <ul style="list-style-type: none"> 輸送量が減少しているため、引き続き利用者の増加に向けた利用促進に努める必要があるものと思料する。 (紀北町) <ul style="list-style-type: none"> 高校生の通学の足としてのバス利用を考えた時に下校時の便が早いから、もう少し遅い便(主に18時～19時台)のダイヤ改正について検討していただければと考えています。 				